

海外作品

特選

◆ブラジル

音もなく流るアマゾン鳥雲に 広田 ユキ

秀作

◆ブラジル

花イペー移民の生涯見守つて 下小蘭蓉子

佳作

◆ブラジル

カーニバルよそ目に月日重ね老ゆ 児玉 和代
終の地と決めしアマゾンイペー咲く 下小蘭秋風
水中花ぼつり本音の泡一つ 須賀あつ子
原爆忌今朝ブラジルの風強き 富岡 絹子

入選

◆ブラジル

笹百合の山や目の前雲走る 浅海喜世子
被災せし山河に見入る懐手 浅海 護也
開拓は過去の思い出胡椒挽ぐ 新井 慶子
パイネイラ芽吹きも急ぐ散歩みち 石井かず枝
聴き流す国の蹉跎や十二月 榎 すえ子
思いきり山にこだますプロポーズ 大内 和美
ハイヒールに馴れて山の子卒業す 大橋 松代
百年は経たる蘇鉄の花ぶりに 長田美奈子
こわばりし手の解れゆく日向ぼこ 織田真由美
二代目の庭の桜も咲きにけり 串間いつえ
赤のまま水車過ぎれば祖母の家 香山 和榮
姨捨ての移民魂山眠る 児玉 和代
なた豆や天まで届くほど伸びる 小村 廣江
虹立つやはるか山脈股ぐかに 小村 廣江
山彦の返らぬアマゾン天高し 下小蘭蓉子
ふるさとの山と汽笛の朧かな 田中 独行
目刺焼く戦後の匂ひ漂わし 檀 正子
思ひ出の二階座敷の歌留多会 富樫 雄輔
ジャングルと言ふ山拓き珈琲時く 那須 千草
山間にマナカの花が咲き満ちて 那須 千草
山のミナス麻州平野も鷹舞へる 畠山てるえ
山小屋で暖炉をとりし読書かな 岡ハルカチマ
玉音の幼き記憶敗戦日 平間 浩二
ココ椰子を植えてより雨順調に 前田 昌弘
相場など忘れて今日もカカオ干す 牛 歩
およばざる母の味追いちらし寿司 三宅 珠美
サントスの山引き寄せて移民着く 宮原 育子
囀りの開ける平和な町の朝 山岡 宏子
山積のレモンの出荷香りたつ 山岡 宏子
来るはずのなき人を待ち水を打つ 山本 幾彌
英世の像栄やすがに群れ囀れる 湯田南山子
コーヒー植う山切り開きし開拓期 吉田しのぶ
ふるさとの二つとなりて椰子に月 わたなべえつ子

◆アメリカ

望郷の時を旅して盆めぐる 道子アータス

おだやかな祖国の夏海見下ろしぬ 浅子 恵
羅府の夏山肌もろに見えにけり 浅子 恵
甘酒の母より届く作り方 さくはら あや
カルミアはアメリカ石楠花咲く山へ さくはら あや
菊香る異土に住んでも文化の日 小園 允子
日が沈む遠い祖国の秋の海 鈴木 清司
ウィーンへ急ぐ列車や秋夕焼 高岡 啓子
どんぐりや実をとり出され笛となり 崩中 務
山と海のはざま耕し秋津島 得野 京子
ゆっくりとめざせ山頂かたつぶり 豊島 キヌ
母恋ひて鹿の子しきりに鳴きにけり 豊島 キヌ
婦省子の家業継ぐ子となりにける 中野 詩万
雲海のまほろの山や霊気満つ 中野 詩万
大らかな羅府連峰や小六月 浜 扶嗣子
山頂は見渡す限り草萌える 樋口 正子
友来たりバナマホテルの蓬餅 茂木ひさを
雉ほろろヨセミテ抜ける風甘し 谷治しげる
われ八十路いまだうさを満月に 吉川富士子

◆タイ

王の茶毘万民祈るタイは秋 瀬能 忠

◆ドイツ

子の旅路地図でたどれば小鳥来る ホボーム希子

◆フランス

山緑苔のピロード冷んやりと 重光 紀子
レモン咲き向かいの島はもう夏日 重光 紀子